

社会教育委員会 会議概要

- 1 審議会名 第7期第3回社会教育委員会
- 2 日 時 令和元年10月7日(月) 午後1時30分から午後3時30分まで
- 3 会 場 教育委員会 第1会議室
- 4 出席者 関和幸委員 青木千浪委員 金子昌平委員 竹花のり子委員 小山ひとみ委員
滝澤共子委員 【欠席委員：早坂委員 清水委員 滝沢委員 西澤委員】
- 5 市側出席者 竜野生涯学習・文化財課長 中村青少年係長
小山生涯学習係長 宮崎生涯学習係主事
- 6 公開・非公開等の別 公開
- 7 傍聴者 0人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 令和元年11月18日

協議事項等

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 会議事項
 - (1) 青少年善行表彰について
【資料による事務局からの説明】
 - 1 審査方法について
 - 2 推薦応募結果及び審査評価(案)について
 - 3 協議 (事務局案のとおり 全会一致)(事務局) 11月30日(土曜日)に「家庭の日の作文」と一緒に「青少年の善行表彰」を行う。1時間ほどの式だが、高校生の皆さんに自分たちの活動をアピールしていただく場面も設けながら、高校生同士またそれを見守る親御さんの理解や期待、励ましができればと思う。
 - (2) 視察研修について
(事務局) 今回の提案は、前回(第2回)の会議で決まらなかった内容を、8月27日の正副代表者会議で詰めたもの。主に市バスを使用し、1日目は、渋谷区社会福祉協議会渋谷こどもテーブルの景丘の家を見学する。事前に質問状を送ってあるが、子ども食堂と子どもの居場所が一緒に見られるとのこと。2日目の立川市は小学校と併設している柴崎学習館、その後歴史民俗資料館を見学。もう1か所は、当課文化財係推薦の埼玉県立自然博物館を予定している。行程の詳細は、事務局で詰めるので最終参加者の確認をお願いしたい。
 - (3) その他
(事務局) 県の生涯学習推進センターと当課企画事業のご案内。
(事務局) 文部科学省が第10期生涯学習分科会を開会するにあたり検討課題を洗い出し、前回までの生涯学習分科会での話し合いの内容が掲載している記事のコピーを配布した。これから皆さんには、社会教育について検討する場合に国が考えていることを知っておいて欲しい。これからの社会の変化、学びに対する変化を踏まえながら、上田市はどうかを幅広く考えていただきたい。上田市は多くの行政以外の活動、学びの場が展開されている非常に恵まれた場所であり、色々な活動が主体的に行われていてそれが地域に対しても誇れるということが皆で共有できればと思う。ちょうど100年くらい前に上田市において色々な社会教育活動が展開されていた。様々な歴史や伝統があり、神川の児童教育運動であるとか、農民美術、その活動を支えた若者達その後上田自由大学を立ち上げて学びの場を提供したなど、先程の文科省の取組を100年前に取り組まれている、自ら学びの場を提供し、その生きた活動とあるが、2012年に向けて、活動を継承しながらそれを地域あるいは市外に発信していきたい。また、来年の提言に向けて参考にさせていただけたらと思う。
- 4 その他
(委員) 冊子「かけはしとなりて」は、東信教育事務所取りまとめで年1回発行している。去年の冊子は第7期からの新しい委員さんにも参考に送ってある。必ず1回は書かなければいけない

ので、今回は本日出席の二人にお願いしたい。内容はどんなことでもいい。12月上旬締切で、2月には配りたい。

(事務局) 次回の会議は、3期目の委員の皆さんが来年末で終わりとなるため、次期委員の選考について等を進めたい。提言時には教育委員との懇談もあるが、年度の終わりと初めで社会教育に関わるスポーツとかも含めて全部報告していただき、来年度事業計画をお示しする会議がある。それ以外に喫緊はなく、次回の会議は来年になると思うが、何か課題があったら事務局へ相談いただければと思う。

(委員) 今日は社会教育委員の研修の話がたくさんあったが、教育委員会(事務局)の職務として社会教育委員にたくさん研修の機会を与えなければならないとなっている。委員は会議だけではなくてそういうこともという位置づけになっている。本日は以上。

6 閉会

※ 次回の社会教育委員会会議は、令和2年2月を予定(先進地視察後に改めて通知する)